

「1950年代教育史」研究部会（第44回）

日時：2020年5月29日（金）13:00～15:00（新型コロナウイルス流行のため、3、4月中止）

場所：オンラインで開催（Zoom使用）

出席：米田俊彦・大島宏・須田将司・鳥居和代・西山伸 各兼任研究員

吉久知延所長・金沢千秋・川上智子

内容：（1）米田俊彦研究員報告：紀要原稿の担当章「第4節 勤評「神奈川方式」の成立」について

◆第4節の検討

1. 新教育委員会の初期の方針
2. 県教委事務局試案の公表（1960年4月）
3. 勤評「神奈川方式」の成立

◆「序章」について

- ・1950年代教育史の意義
- ・先行研究（教育史に限定しない）
- ・市町村教育委員会の発足から廃止までの経過を通じ、50年代の過渡期的性格を具体化

（2）須田将司研究員報告：紀要原稿の担当章「第1節 文部省による設置勸奨と教育研究所の設立」について

◆第1節の検討

1. 教育刷新委員会の議論
2. 全国教育研究所連盟の設立
3. 1950年代における教育研究所の動向
4. 「国立大学附属教育研究所の問題」
5. CIEに対する論駁

・次回研究会は、2020年6月26日（月）13:00～。大島研究員、鳥居研究員

・次々回 2020年7月31日（金）13:00～